

サツマイモ基腐病に注意！（生育期）

1 挿苗 3 週間後頃に畑を見回しましょう！

生育中に基腐病に感染した株は、生育不良、株元の黒変を伴う葉の変色や枯死等が起こります。除草剤散布のような作業の際に畑全体をしっかりと観察し、異常株の早期発見に努めましょう。

2 異常株があったら普及センターにご連絡を

基腐病に似たような症状の病害として、つる割病や立枯れ病がありますが、疑わしい症状が出ている異常株を発見したら、普及センターまでご連絡ください（TEL：029-227-1521）。

3 生育期に使えるサツマイモ基腐病の予防対策農薬

商品名	希釈倍率	散布液量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数
アミスター20 フロアブル	2000 倍	100～300 ℓ /10a	散布	収穫 14 日前まで	3 回以内
	12～32 倍	1.6 ℓ /10a	無人航空機 による散布	収穫 14 日前まで	3 回以内
トリフミン 水和剤	2000～ 3000 倍	100～300 ℓ /10a	散布	収穫前日まで	2 回以内
	16 倍	0.8～1.6 ℓ /10a	無人航空機 による散布	収穫前日まで	2 回以内
Z ボルドー	500 倍	100～300 ℓ /10a	散布	—	—
ジーファイン 水和剤	1000 倍	200～300 ℓ /10a	散布	収穫前日まで	—

(令和 5 年 5 月 10 日時点)

※サツマイモ基腐病の発生条件や防除のポイントの詳細については、
茨城県病害虫防除所のホームページをご参照ください。



お問い合わせ先：茨城県県央農林事務所 経営・普及部門
(水戸地域農業改良普及センター)
地域普及第三課 小菅・大輪 TEL：029-227-1521

資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する方は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

また、農薬の新しい安全性評価導入等にともない、直ちに使用方法を変更するよう注意喚起される場合があります。その場合は、ラベルの使用方法ではなく、変更後の使用方法に従って使用してください。注意喚起の有無は、農薬の購入先や茨城県病害虫防除所のホームページ等で確認してください。